

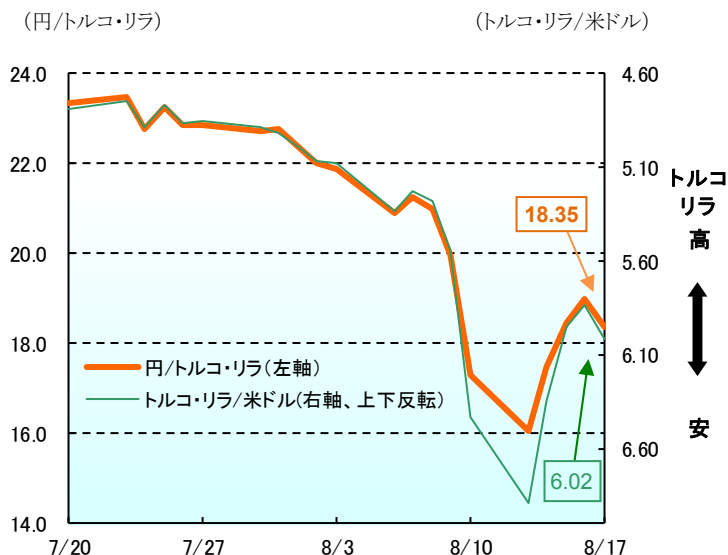
### 【2018年8月11日～2018年8月17日までの推移】

#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

トルコ中央銀行は13日（現地、以下同様）、支払準備率引き下げなど市中銀行の流動性を支援する一連の措置を発表しました。エルドアン大統領は15日、カタールから150億ドルの投資を取り付けました。アルバ伊拉克財務相は16日に、世界各国の投資家やエコノミスト向けの電話会議を開催し、国内銀行は健全だと強調し、市場で懸念されていた資本規制を否定しました。これらの一連の動きが市場に一定の安心感を与えました。ただ、格付会社のS&Pグローバル・レーティングとムーディーズ・インベスターズ・サービスはいずれも17日に、トルコの国債格付けを引き下げました。

【トルコ・リラ 為替推移】（2018年7月20日～2018年8月17日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

#### 【2】今週の見通し

今週のトルコ市場は、イスラム教の犠牲祭のため休場です。

トルコと米国の関係を巡っては、トルコは米国産の乗用車、アルコール、たばこなどに対する関税を2倍に引き上げた一方、米国側は米国人牧師の解放に関して追加制裁をちらつかせています。20日には、在トルコ米国大使館に向けて発砲事件が発生するなど、両国の関係は引き続き緊張しています。連休明け後も、トルコ市場は予断を許さない状況が続くそうです。

【トルコ 金利推移】（2018年7月20日～2018年8月17日）



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>